

# 令和5年度 8月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	15回
2	延べ従事補導委員数	51人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	149人



## 8月の補導日誌から

8月1日(火) 5班 (I・A) 記

**巡回経路** 大型スーパー → 久保田公園 → アミューズメント施設 → 近津南公園  
→ ねむのき公園 → ミレニアムパーク → 市民交流ひろば → 大型スーパー

### 補導の様子

今年の夏は、厳しい猛暑で、ちょっと体を動かすだけで汗だくになり、外の仕事も大変で、冷たい飲み物が欠かせない。学校も夏休みになり、毎日のように水難事故や豪雨災害などが報道され、身近に起きないように願いたい。今日も午前中暑かったが、午後は風と小雨で涼しくなった。公園を回り、パチンコ店へ。店長さんに伺ったところ「未成年者の入場には気を配り、年齢確認のため身分証の提示を求めている。駐車場もトラブルがないか見回りをしている」とのこと。ご苦労様です。何か所かの公園を回ったが、人影がほとんどなかった。ねむの木公園では、4人の子どもが遊ぶ姿を見て、「元気に遊べ」と思った。



8月2日(水) 17班 (I・S) 記

**巡回経路** 臼田交番 → 下の宮公園 → 稲荷山公園 → 千曲台公会場  
→ コンビニ → 臼田児童公園 → 臼田児童館 → 臼田交番

### 補導の様子

訪問した巡回場所に、子どもの姿はほとんどなかった。雨が降り出し、雷が鳴っていたことが、その要因かもしれない。稲荷山公園では、トイレの様子も確認したが、きれいな状況であった。臼田児童館の利用者は30人。館長さんの話によると「連日、暑い日が続くので、気温や湿度に留意し、熱中症にならないように気を配っている」とのことだった。

8月3日(木) 15班 (K・Y) 記

**巡回経路** 佐太夫町公園 → 成知公園 → 水上公園 → 中込中学校  
→ 佐久城山児童館

### 補導の様子

うだるような暑さの中、時折吹く風が心地よい日でした。各公園は、夏休みとはいえ、猛暑のせいか大人を含めて誰も見当たりませんでした。中込中学校も、

先生が数名いるだけで、校庭にも人影はありませんでした。それでも佐久城山児童館は、前回に比べれば利用者は少ないものの、球技に汗をかく子もいれば、唯一冷房設備のある部屋で読書をする子もいました。この暑さで、体温が上がってしまう子も少なくないとのこと。入口の花壇がよく手入れされていました。

8月4日(金) 11班 (S・K) 記

**巡回経路** 生涯学習センター → 城山公園 → 原公園 → 中嶋公園  
→ 泉児童館

#### 補導の様子

4時を過ぎても暑い一日でした。生涯学習センター2階の学習室では、20数名が静かに勉強中でした。城山公園では、中学1年生4名が遊んだ後、片付けをして、一休みしているところでした。原公園では、社会人が3名の小学生やその母親に珍しいニジイロクワガタ(オーストラリア産)やミヤマクワガタを見せていました。熱中症に注意するように伝えました。中嶋公園では日差しを避け、大人3名と小さな子ども3名が遊んでいました。泉児童館では、児童9名が読書をしたり、植木に水をやったりして、静かな雰囲気でごしていました。西日が当たり館内はかなり高温となっているため、体調管理には十分注意するようにお願いして児童館を後にしました。



8月5日(土) 夜間街頭補導(臼田よいよさ) 16班 (U・T) 記

#### 概要

「臼田よいよさ」が行われるため、20時30分からの街頭補導活動となりました。臼田駅から臼田橋を経由して佐久市臼田支所近くの交差点までが交通規制がかかり、20時頃から始まる花火を見るために、多くの人が臼田橋に集まっていました。佐久市臼田支所から臼田駅までの間を巡回しましたが、特に問題はなく、終了しました。

8月7日(月) 6班 (N・Y) 記

**巡回経路** 大型ゲームセンター → ゲームセンター → 曾根公園  
→ 仙祿湖公園 → 高瀬児童館

#### 補導の様子

大型ゲームセンターおよびゲームセンターでは、夏休みに入り、来店客も多少増えているとのことでした。大型ゲームセンターには、大人数人と、親子連れが数組見られました。曾根公園、仙祿湖公園は、猛暑と夕立のせいもあり、人の姿は見当たりませんでした。高瀬児童館では、数人の子どもが親の迎えを待っていました。

8月14日(月) 夜間街頭補導(浅科どんどん祭り) 18班 (M・Y) 記

#### 概要

先ほどまで降っていた雨が上がり、夜風が心地よい。花火会場に向かう車が連なり、歩行者の通行も危うい。子ども連れの家族、若者のカップルなど続々と集

まってくる。思っていた以上に人出が多い。本部席周辺には、夜店が並び大勢の人が列を作って買い求めている。花火が上がると、腹に響く「ドーン」という音と共に歓声上がる。帰りの車を順序よく駐車場から出すため、誘導員の指示に従うよう、再三アナウンスしている。今年の花火大会も無事終了しました。

## 8月15日(火) 夜間街頭補導(榊祭り)

19班 (U・S) 記

### 概要

台風7号の影響で前日まで開催が危ぶまれていたが、当日の朝は曇りながらも青空が見える。開催できそうだ！私にとって何十年ぶりに見る榊祭り。五穀豊穡、無病息災を祈願する祭りとのこと。子どもにせがまれてたくさんの露店の中から目当ての物を買う人、お酒を飲む人、肝心の「榊神輿」の周りは人の山、とても近づけない。場所を変えて何とか遠方より見る事ができた。

神輿の担ぎ手は皆若い。20歳代か？勢いがすごい。瞬発力・パワー、すべて必要！けがのないように！役員・警察・交通誘導員の皆さん、ご苦労様です。補導活動というには難しく、人や物と接触しないように進むことが精いっぱい活動となりました。



## 8月16日(水)

1班 (S・K) 記

**巡回経路** 岩村田公園 → 岩村田児童館 → 若宮公園 → 枇杷坂公園  
→ 岩村田駅 → 中央公園 → 王城公園

### 補導の様子

街頭で子どもたちの姿はほとんど見かけることがありませんでした。岩村田児童館は、6名が利用しており、いずれも低学年の児童でした。薄曇りでしたので、全員が元気に庭で遊んでいました。午前中は10名の利用者があったとのこと。館長さんは、「平日であれば80名~90名ほどが利用している。児童館には小さなエアコンが1台しかないため、熱中症の予防には神経を使う」と話してくれました。公園を訪れると、若宮公園には、大人の女性2名と、未就学児1名が公園を利用していました。お盆や暑さのためか、その他の公園に人影はなく、補導や声かけすべき状況はありませんでした。

## 8月17日(木)

10班 (M・E) 記

**巡回経路** 取出町諏訪神社 → 東田公園 → 取出町ふれあい公園  
→ 泉団地公園 → 泉児童館 → さくらいこども広場

### 補導の様子

お盆明けで小雨が降っていたので、各公園には子どもの姿は見かけられません。泉児童館では、館長さんに面会。今日は32名が来館したとのことでした。「さくらいこども広場」では、2名の女子児童がブランコで遊んでいました。声かけしたところ、近所に住んでいる小学生と保育園に通う姉妹とのことでした。はっきりとあいさつもでき、質問にも答えてくれました。とても感心しました。

8月18日(金)

2班 (K・T) 記

**巡回経路** 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク → 佐久平駅  
→ 大型スーパー内ゲームコーナー

### 補導の様子

暑い、とにかく暑い。大型スーパー内は、買い物客と涼を求める人で混雑している。夏休み最後を楽しむ小中学生の集団が目を引き。大型スーパーを出て、市民交流ひろば、ミレニアムパーク内の多目的広場を通り、佐久平駅まで巡回する。途中、3組の小中高校生に声をかける。皆、屈託ない表情、自然体で応答する。皆、良い子どもたちである。夏休み明けは、不登校や自殺する子どもが多いと聞く。佐久の子どもたちは、そのようなことが起きぬことを切に願いたい。

8月21日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** グリーンモール → 横町公園 → 中込中学校 → 平賀新町公園  
→ 水上公園 → 橋場公園 → 成田公園 → 成知公園  
→ 佐太夫町公園

### 補導の様子

太陽は雲に隠れている。北の空には積乱雲も見えるが、昨日のような雷鳴は聞こえない。グリーンモール入口の不法駐輪は解消されていた。また、商店街のフリースペースは施錠されていた。中込中学校に足を運ぶと、生徒の姿はない。夏休みもそろそろ終わりになるだろうか。水上公園に寄ると、男子1名、女子3名の中学生が、ボール遊びをしていた。平賀新町公園、橋場公園、成田公園に人影はない。「子どもたちの姿がないのは、夏休みの宿題が忙しいせいだろう」と冗談を言いながら、成知公園に向かうと、数組の親子連れの様子が目に入ってきた。2人の幼い子どもを連れた母親と、祖母に声をかけた。「3歳の兄と、7か月の妹だが、下の子の育休のため、兄は、今通っている保育園を出なければならぬ」と現状を話してくれた。小中学生の姿こそなかったが、涼しさも感じられる午後の公園は、親子が安心してくつろげる恰好な場所になっていた。



8月23日(水)

9班 (T・H) 記

**巡回経路** 野沢南高校正門前 → 野沢児童館 → 中嶋公園 → 原公園 → 城山公園

### 補導の様子

午後の夕立も上がり、巡回コースに出かけました。雨上がりもあって、各公園には、児童生徒の人影はありませんでした。中嶋公園では、女子トイレの個室のドアに蹴ってできたような穴(直径約10cm)がありました。原公園に一人の青年が自転車に乗っていましたが、我々が行くと私物を置いたままその場を離れて行きました。最後にビデオレンタル店に行き、店内を巡回させていただきました。アダルトビデオが陳列されているスペースの入口に「18歳未満の方の入場はお断りします」と書かれた暖簾(のれん)が吊るされていました。

\* 中嶋公園のトイレドア破損については、公園緑地課に連絡しました。

専門補導委員

8月24日(木) 学校訪問(浅間中学校)

3・4班 (K・M) 記

### 概要

浅間中学校を訪問し、先生と補導委員とで情報交換を行いました。生徒指導主事の先生から「学校教育目標の『情操高く 知は深く』」等学校目標を具現するためのグランドデザインの説明があったほか「文化祭に向けて、生徒・教職員共に全校挙げて活動している」「自転車乗車中の交通事故があったが、軽傷ですんだ」「知らない男にスマホで写真を撮られた」等の事例を紹介しながら生徒の様子を話していただきました。補導委員からは「予想される今後の各学年のクラス数と通学区域について」「狭い道路で広がり歩行がある」「登下校時、大変良いあいさつができています」「昔よくあった不良行為はほとんど見られず、良い子が多い」等の質問や地域における生徒の様子や街頭補導活動時で感じたことが話されました。学校と補導委員との連携を深めるとも良い機会となりました。

8月28日(月)

12班 (K・S) 記

**巡回経路** 野沢会館 → 野沢児童館 → 中嶋公園 → 原公園 → 城山公園

### 補導の様子

野沢会館自習室・十数人の高校生が、真剣に学習していた。

野沢児童館・・・「こんにちは」と声をかけると、子どもたちが元気にあいさつを返してくれた。館内を見学させていただいた。連日の真夏日で、館内でも30℃を超えるため、子どもたちの熱中症への配慮は欠かせないとのこと。

中嶋公園・・・高校生2グループが日陰のベンチで歓談していた。

原公園・・・年長のお孫さんを連れた女性に声をかけた。母親が仕事のため、お孫さんを預かり、公園に遊びに来たとの事で、巡回への労いのことばをいただいた。

城山公園・・・20名ほどの小・中学生が遊んでいた。小学生の子どもたちは、元気にあいさつしてくれた。中学生のグループは、サッカーを始めたので、小さな子どもや建物に注意するように伝えた。

8月29日(火)

14班 (K・M) 記

**巡回経路** 中込駅 → 中込会館 → 成知公園 → 学童保育 → 成田公園  
→ 橋場公園 → 水上公園 → 平賀新町公園 → 横町公園

### 補導の様子

中込会館の自習室では、高校生8名が自習していた。学童保育では、25人の子どもがそれぞれのテーブルで宿題をやったり、おやつを食べたりしていた。平賀新町公園で、公園に来ていた小学生に声をかけた。その中の一人の男の子は「最近、自転車に乗っていた時、事故に遭い、自転車が壊れてしまった」と言っていたが、本人は「ヘルメットをかぶっていたからかすり傷ですんだ」と笑顔で話してくれた。中込地区内の公園を回ったが、子どもの姿は少なかった。



**概 要**

校長先生・生徒指導の先生との意見交換の場となりました。本年度の生徒数は、231名で、来年度は減少の見通しとのことでした。部活動では、生徒数の減少に伴い、部員の確保が難しい状況の中、学校として苦心されているようです。登下校を含め、生徒の動向は落ち着いているようです。ICT・SNSといった現代的な問題について、学校では、授業のサポートにICT・リモートの活用をされているようですが、SNS等については家庭での指導が必要だと感じました。専門補導委員からの提示資料によると、不良行為少年として補導された人員の総数は減少傾向ですが、女子の補導人員が増加または横ばいで推移している点が気になりました。

**8月の補導を終わって 専門補導委員 S・H****コロナ感染症とマスク**

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になって久しい。「政府として一律に日常における基本的感染対策を求めることはない」とし、マスクの着用についても「個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることが基本」であるとした。街中にはマスクを着けない人が増えているし、20名ほどの職場を見回しても、マスクを着用している職員は、だれもいない。マスクは息苦しいし、眼鏡も曇る。それでも多くの人たちは、ここ数年の間にマスクを日常的に着用することに抵抗を感じなくなった。それどころか、マスクをしないと人前に出られないと考える人さえいると聞く。

そんな昨今のマスク事情の中で、マスクなしの尊顔を初めて拝見する機会が増えた。私たちは、マスクをしている他人の顔を見て、なんとなく顔全体をイメージしている。ところが、そうした頭に染み付いた他人の顔のイメージが、マスクを取った顔と初めて対面すると、大きく覆される。

円地文子のエッセイ「メガネの悲しみ」を思い出した。多感な年頃の作者が「めがねをかけることになってとても悲しい」といった内容だったと記憶しているが、顔の半分も部分を覆ってしまうマスクはメガネどころではない。「マスクの悲しみ」を女性はどう考えているのだろうか。ある女性に聞くと、「悲しみ？ない、ない。」と平然と答えてくれた。メガネとマスクはやはりこれは違った。「目は口ほどにものをいう」とはいうが、人の感情をマスクで覆われた目だけの顔から判断することは難しい。私たちはマスクによってコミュニケーションを大きく損なっていたのかもしれない。

コロナ感染症は終息とはなっていない。感染状況を示す近日(8月28日から9月3日)の定点把握データによると、全国の1医療機関あたりの平均患者数は20.50人であり、患者数は増加傾向にあるというが、コロナ感染症状況のメディア報道は控えめだ。それどころか、夏のインバウンド需要や夏休みの旅行報道など、コロナ感染が世界中にまん延し始めたころの緊張感を思うと、滑稽ですらある。ただ、恥ずかしながらかくいう私も、ご多分にもれず小旅行を計画中である。

コロナ感染症は他の疾患との区別も難しく、軽症ではあっても後遺症が心配され、他の人に感染症を移してしまう危険性もある。周囲に迷惑をかけないために、また、自分自身を守るために、どんな場面でマスクを着用するか適切に判断することが求められる。まだしばらくの間マスクとおさらばできそうもない。